

## 授業計画（シラバス）

学科	建築学科	学年	1・2	区分	講義	科目	カラーコーディネート	総時間	前期	4.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	公益社団法人色彩検定協会（A・F・T）の色彩検定2級検定試験に合格できる能力を身に付けさせる。									
評価方法	出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	講義1					1	講義19			
2	講義2					2	講義20			
3	講義3					3	講義21			
4	講義4					4	講義22			
5	講義5					5	講義23			
6	講義6					6	講義24			
7	講義7					7	講義25			
8	講義8					8	講義26			
9	講義9					9	講義27			
10	講義10					10	講義28			
11	講義11					11	講義29			
12	講義12					12	講義30			
13	講義13					13	講義31			
14	講義14					14	講義32			
15	講義15					15	講義33			
16	講義16					16	講義34			
17	講義17					17	講義35			
18	講義18					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1・2	区分	講義	科目	ビジネス能力	総時間	前期	4.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	ビジネス能力検定（B検）ジョブパス2級・3級に合格できる能力を身に付けさせる。									
評価方法	出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	講義1					1	講義19			
2	講義2					2	講義20			
3	講義3					3	講義21			
4	講義4					4	講義22			
5	講義5					5	講義23			
6	講義6					6	講義24			
7	講義7					7	講義25			
8	講義8					8	講義26			
9	講義9					9	講義27			
10	講義10					10	講義28			
11	講義11					11	講義29			
12	講義12					12	講義30			
13	講義13					13	講義31			
14	講義14					14	講義32			
15	講義15					15	講義33			
16	講義16					16	講義34			
17	講義17					17	講義35			
18	講義18					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1・2	区分	講義	科目	福祉住環境コーディネーター	総時間	前期	4.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	福祉住環境整備の基本的視点として欠かせない福祉の考え方をはじめ、福祉住環境コーディネーターの心構えと役割、関連専門職との連携のとり方、自立した住生活を支える施策をトータルに捉えるようにする。 東京商工会議所認定の福祉住環境コーディネーター2級検定試験に合格できる能力を身に付けさせる。									
評価方法	出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	講義1					1	講義19			
2	講義2					2	講義20			
3	講義3					3	講義21			
4	講義4					4	講義22			
5	講義5					5	講義23			
6	講義6					6	講義24			
7	講義7					7	講義25			
8	講義8					8	講義26			
9	講義9					9	講義27			
10	講義10					10	講義28			
11	講義11					11	講義29			
12	講義12					12	講義30			
13	講義13					13	講義31			
14	講義14					14	講義32			
15	講義15					15	講義33			
16	講義16					16	講義34			
17	講義17					17	講義35			
18	講義18					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1・2	区分	講義	科目	建築施工管理技術	総時間	前期	4.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	2級建築施工管理技術検定試験を合格を目標にして、入学してから学習した建築全般（計画・法規・構造・施工）の知識の総復習を行う。									
評価方法	出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	講義1					1	講義19			
2	講義2					2	講義20			
3	講義3					3	講義21			
4	講義4					4	講義22			
5	講義5					5	講義23			
6	講義6					6	講義24			
7	講義7					7	講義25			
8	講義8					8	講義26			
9	講義9					9	講義27			
10	講義10					10	講義28			
11	講義11					11	講義29			
12	講義12					12	講義30			
13	講義13					13	講義31			
14	講義14					14	講義32			
15	講義15					15	講義33			
16	講義16					16	講義34			
17	講義17					17	講義35			
18	講義18					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1・2	区分	講義	科目	管工事施工管理技術	総時間	前期	4.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	2級管工事施工管理技術検定試験の合格を目標に管工事に関する基礎知識、専門知識、施工管理、関係法規について修得させる。									
評価方法	出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	講義1					1	講義19			
2	講義2					2	講義20			
3	講義3					3	講義21			
4	講義4					4	講義22			
5	講義5					5	講義23			
6	講義6					6	講義24			
7	講義7					7	講義25			
8	講義8					8	講義26			
9	講義9					9	講義27			
10	講義10					10	講義28			
11	講義11					11	講義29			
12	講義12					12	講義30			
13	講義13					13	講義31			
14	講義14					14	講義32			
15	講義15					15	講義33			
16	講義16					16	講義34			
17	講義17					17	講義35			
18	講義18					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	講義	科目	数学	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	建築に必要な数学の基礎を習得することを目標とする。 使用する単位、面積計算に必要な図形、力学計算に必要な三角比・関数計算とグラフの関係・指数計算ができるようにする。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	数について・整式の計算方法					1				
2	単位とその成り立ち					2				
3	比と比例について					3				
4	関数とグラフ					4				
5	一次関数					5				
6	"					6				
7	二次関数					7				
8	"					8				
9	指数法則と指数関数とは					9				
10	対数法則と対数関数とは					10				
11	図形について（幾何学）					11				
12	"					12				
13	三角比と三角関数とは					13				
14	ベクトル（線形性）について					14				
15	"					15				
16	論理と集合について					16				
17	"					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	講義	科目	建築・インテリア概論	時間数	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	建築系の各分野で活躍されている方から業界の魅力を学び、自らの働く姿を想像し卒業後の目標を見つける手がかりとする。また、現場の実情なども知り社会的な課題と共に、今後の展望について技術者像をイメージするきっかけとする。									
評価方法	レポート・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	オリエンテーション/専門学校での学び					1				
2	講義1 業界の現状と展望					2				
3	講義2 ユニバーサルデザインと福祉住環境整備					3				
4	講義3 家づくりの仕事					4				
5	講義4 意匠設計の仕事					5				
6	講義5 施工管理の仕事					6				
7	講義6 建築設備の仕事					7				
8	"					8				
9	講義7 インテリアスタイリング					9				
10	"					10				
11	講義8 ショップデザインの仕事					11				
12	"					12				
13	講義9 照明のデザインの仕事					13				
14	"					14				
15	講義10 BIMを使った仕事					15				
16	"					16				
17	講義11 社会人としての、コミュニケーションとプレゼンテーション					17				
18	講義12 まとめ・発表					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	講義	科目	建築・インテリア計画	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	<p>日常生活と建築・インテリアとの関わりについて考えさせるとともに、建築・インテリア計画を進めるための基本事項を理解させ、過去の作品例を分析しつつ、未来に対応できる建築家としての能力を養う。生活空間のあり方を人間のサイズや行動からとらえたうえで、色、形、材質及び、その構成や、構造が及ぼす影響を理解し、創造的で豊かな建築・インテリアの計画を目指す姿勢を養う。</p>									
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築計画					1				
2	"					2				
3	"					3				
4	"					4				
5	"					5				
6	"					6				
7	"					7				
8	"					8				
9	"					9				
10	インテリア計画					10				
11	"					11				
12	"					12				
13	"					13				
14	"					14				
15	"					15				
16	"					16				
17	"					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	講義	科目	建築史 I	時間数	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	西洋建築（石の建築）と日本建築（木の建築）の歴史を全般的に学ぶことで、人間の暮らしと建築物、そして環境との関係性について知るきっかけとする。また、日本国内だけでなく世界の建築物を通して建築に対する見識を広げる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築史概論・近代建築の3大材料・現代建築					1				
2	エジプト・オリエント建築					2				
3	キリシア建築・ローマ建築					3				
4	初期キリスト建築・ビザンティン建築					4				
5	イスラム建築・ロマネスク建築					5				
6	ゴシック建築・ルネサンス建築					6				
7	バロック建築（リヴァイヴァル建築）					7				
8	古代神社建築・仏教建築					8				
9	"					9				
10	古代の都市計画・住宅・浄土教の建築					10				
11	"					11				
12	中世の神社・仏教建築					12				
13	"					13				
14	中世の住宅建築（書院造）・城郭建築					14				
15	"					15				
16	茶室と数奇屋・近世の建築・民家					16				
17	まとめ					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	講義	科目	構造力学 I	時間数	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	<p>構造物（建築物）がいかに建っているのか、力はどのように働くのか、力学的な考え方の基礎を理解する。建築物がなぜこのような形をしているのか、どのように計画していくかを理解するための一歩目とする。以下の理解・習得を目標とする。</p> <p>(1) 力の性質と表現方法を理解する  (2) 力を分解することができる  (3) 反力を、力のつり合いをもとに単一材と簡単なラーメン構造で求めることができる</p>									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	構造力学とは何か？必要な算術、電卓の使い方					1				
2	力学の基礎（力とは、力のモーメント、単位、記号等）					2				
3	"					3				
4	力学の基礎（つり合い、力の合成と分解）					4				
5	"					5				
6	構造物のモデル化、荷重の種類					6				
7	外力と反力（全般）					7				
8	外力と反力（単純梁）					8				
9	"					9				
10	"					10				
11	外力と反力（片持ち梁）					11				
12	"					12				
13	"					13				
14	外力と反力（張り出し梁）					14				
15	"					15				
16	外力と反力（単純ラーメン）					16				
17	"					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	講義	科目	建築構造 I	時間数	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	木構造の基本的な組み方と部材を性質とともに理解し、「建築インテリア基礎製図演習」と連動して、図面を描いたり設計をする際の基礎知識を養う。二級建築士受験の上でも科目の1つとなっている分野であるので、受験を想定した問題にも取り組む。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	総説・建築構法の変遷・建築構造の分類					1				
2	木構造の概要					2				
3	木構造を構成する各部材・木材の性質					3				
4	軸組・土台・柱					4				
5	桁・胴差					5				
6	筋違・火打・貫・間柱					6				
7	地付床（1階床組）					7				
8	"					8				
9	上階床（1階床組・2階床組）					9				
10	"					10				
11	基礎・軸組・床組／断面算定					11				
12	"					12				
13	"					13				
14	小テスト小屋組の考え方・寄棟屋根のかけ方					14				
15	天井・壁・床					15				
16	階段					16				
17	床の間回り・床脇・書院					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	演習	科目	建築・インテリア基礎製図演習	時間数	前期	8.0×18
									後期	
指導目標	木造における基本的な設計図書一式（平面図・立面図・断面図・矩計図・展開図・伏図・仕上表）のトレースを通じて、線の描き方から図面として記載すべき項目や描き方の決まりごと等の基本的な製図技法を身に付け、覚える。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	ガイダンス・製図道具の説明 基本技法の練習 線の練習					1				
2	" 文字・数字の練習		" 表示記号の練習			2				
3	" 図面の練習					3				
4	木造2階建住宅 写図 平面図（1階）					4				
5	"					5				
6	平面図（2階）					6				
7	"					7				
8	断面図					8				
9	"					9				
10	立面図					10				
11	"					11				
12	矩計図					12				
13	"					13				
14	2階床伏図・小屋伏図					14				
15	二級建築士製図試験写図					15				
16	構造（軸組）模型					16				
17	展開図					17				
18	総合提出					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	演習	科目	I T リテラシー	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	パソコンの起動、終了、保存、マウス・キーボード操作、基本用語、PC各部の名称などの基本を学び、MicrosoftOfficeの操作を習得する。また、インターネットを活用する上での安全な使い方や、分析して活用する能力を身に着ける。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	パソコン基礎 パソコン初期設定・Officeインストール					1				
2	word基本					2				
3	"					3				
4	"					4				
5	"					5				
6	"					6				
7	excel基本					7				
8	"					8				
9	"					9				
10	"					10				
11	"					11				
12	PowerPoint基本操作					12				
13	"					13				
14	"					14				
15	"					15				
16	プレゼンテーション課題					16				
17	"					17				
18	発表					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	演習	科目	建築・インテリアデザイン演習	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	<p>建築・インテリアの職業に就くために必要な「空間」づくりの基本を学ぶことを目的とする。  課題を通して、以下の力を身に着けることを目標とする。  (1) 色を与えるイメージや基本的な色の構成を理解する  (2) 空間創造のコンセプトワークによって、イメージを具体的な空間に落とし込む能力を養う  (3) 模型を制作する基本的な技術と表現力を身につける。</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	主張する形					1				
2	色相環					2				
3	"					3				
4	"					4				
5	"					5				
6	色彩構成					6				
7	"					7				
8	"					8				
9	"					9				
10	5Mキュー・模型制作の練習					10				
11	"					11				
12	"					12				
13	"					13				
14	"					14				
15	"					15				
16	"					16				
17	"					17				
18	発表					18				
19						19				
20						20				
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	建築学科	学年	1	区分	演習	科目	レンダリング演習 I	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	デッサンや着色、透視図等の基本的な表現技法を学ぶことで、プレゼンテーションで使える様々な表現方法を習得する。立体・空間の表現技術や図法・絵画技術を習得する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	似顔絵デッサン					1				
2	似顔絵デッサン 発表					2				
3	デッサン基礎 (グレースケールと立方体)					3				
4	デッサン基礎 (ビール瓶と空き缶)					4				
5	"					5				
6	アイソメ・アクソメ					6				
7	"					7				
8	"					8				
9	"					9				
10	グリッド					10				
11	"					11				
12	"					12				
13	1点透視					13				
14	"					14				
15	"					15				
16	2点透視					16				
17	"					17				
18	"					18				
19						19				
20						20				
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	建築学科	学年	1	区分	講義	科目	建築計画 I	時間数	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	<p>日常生活と建築との関わりについて考えさせるとともに、建築計画を進めるための基本事項を理解させ、過去の作品例を分析しつつ、未来に対応できる建築家としての能力を養う。</p>									
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	建築計画について（勉強の仕方）			
2						2	人間と環境を考える1			
3						3	人間と環境を考える2			
4						4	人間と環境を考える3			
5						5	人間と環境を考える4			
6						6	人間と環境を考える5			
7						7	人間と環境を考える6			
8						8	人間と環境を考える7			
9						9	人間と環境を考える8			
10						10	住まいを計画する1			
11						11	住まいを計画する2			
12						12	住まいを計画する3			
13						13	住まいを計画する4			
14						14	住まいを計画する5			
15						15	住まいを計画する6			
16						16	住まいを計画する7			
17						17	テスト返却・解説			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	講義	科目	建築計画Ⅱ	時間数	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	<p>日常生活と建築との関わりについて考えさせるとともに、建築計画を進めるための基本事項を理解させ、過去の作品例を分析しつつ、未来に対応できる建築家としての能力を養う。</p>									
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	【計画各論】集合住宅					1				
2	"					2				
3	事務所					3				
4	"					4				
5	学校					5				
6	"					6				
7	幼稚園・保育所					7				
8	病院・福祉施設					8				
9	"					9				
10	ホール・コミュニティセンター					10				
11	"					11				
12	商店・ショッピングセンター					12				
13	"					13				
14	図書館					14				
15	"					15				
16	美術館・博物館					16				
17	"					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	講義	科目	環境工学	時間数	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	室内の環境設計に必要な空気、熱、光、音等の環境要素について、基礎的知識を理解させる。また、資格試験対策につながるように、演習問題を解かせて理解させる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	気候（1）概論					1				
2	"					2				
3	伝熱と結露（1）伝熱					3				
4	伝熱と結露（2）空気線図					4				
5	伝熱と結露（3）結露					5				
6	換気と通風（1）自然換気					6				
7	換気と通風（2）機械換気					7				
8	日照と日射					8				
9	"					9				
10	採光					10				
11	"					11				
12	照明					12				
13	"					13				
14	色彩					14				
15	"					15				
16	音環境					16				
17	"					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	講義	科目	建築設備 I	時間数	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	建築設備の役割及びその種類・構成を理解させ、地球環境問題・建物の省エネルギーとの関わりについて急速に変化する社会情勢を考慮しながら、それぞれの設備について理解させ、建築計画に応用させる能力を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築設備とは					1				
2	給水設備					2				
3	"					3				
4	給湯設備					4				
5	"					5				
6	ガス設備					6				
7	"					7				
8	排水通気設備 (1)					8				
9	排水通気設備 (2)					9				
10	排水処理設備 (1)					10				
11	排水処理設備 (2)					11				
12	排水処理設備 (3)					12				
13	衛生器具設備 (1)					13				
14	衛生器具設備 (2)					14				
15	衛生器具設備 (3)					15				
16	消火設備					16				
17	"					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	講義	科目	建築設備Ⅱ	時間数	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	建築設備の役割及びその種類・構成を理解させ、地球環境問題・建物の省エネルギーとの関わりについて急速に変化する社会情勢を考慮しながら、それぞれの設備について理解させ、建築計画に応用させる能力を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	空気調和設備とは			
2						2	空気調和と室内環境（1）			
3						3	空気調和と室内環境（2）			
4						4	空気の状態・空気線図			
5						5	空調負荷			
6						6	空気調和方式			
7						7	熱源方式			
8						8	"			
9						9	空気調和機器と部材			
10						10	換気・排煙設備（1）			
11						11	換気・排煙設備（2）			
12						12	受変電・幹線設備			
13						13	"			
14						14	照明・コンセント設備			
15						15	情報・通信設備・搬送設備			
16						16	まとめ			
17						17	テスト返却・解説			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	講義	科目	建築史Ⅱ	時間数	前期	2.0×17
									後期	
指導目標	近代建築・現代建築の成立と発展の過程を学ぶとともに、将来の建築デザインについて考える。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	【西洋近代】 新素材の建築・都市と住宅問題			
2						2	アーツ&クラフツアールヌーボー・シカゴ派・セセッション			
3						3	RCの登場・ドイツ工作連盟・近代建築運動			
4						4	モダニズム建築の完成と流布 (CIAM・バウハウス)			
5						5	モダニズム建築の完成と流布 (モダニズムの巨匠)			
6						6	アールデコ・スカイクレーパー 第2次大戦後の建築			
7						7	"			
8						8	【日本近代】西洋文化の移入・日本人建築家の誕生			
9						9	様式建築の展開・モダニズムの到来			
10						10	"			
11						11	戦災復興から高度成長期			
12						12	"			
13						13	戦後の住宅政策・近代の住宅			
14						14	"			
15						15	【現代建築】ポストモダニズム・建築の未来			
16						16	【現代建築】 ポストモダニズム・建築の未来			
17						17	テスト返却・解説			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	講義	科目	建築法規 I	時間数	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	建築基準法及び関係法令を理解させるとともに、演習を通じて運用能力を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築法規の概要					1				
2	建築基準法（用語の定義）					2				
3	"（面積の算定）					3				
4	"（高さ・階数の算定）					4				
5	"（集団規定の概要）					5				
6	"（用途地域と用途制限）					6				
7	"（道路と敷地）					7				
8	"（容積率）					8				
9	"（建ぺい率）					9				
10	"（高さ制限の概要）					10				
11	"（隣地斜線）					11				
12	"					12				
13	"（北側斜線）					13				
14	"					14				
15	"（日影規制・天空率）					15				
16	"					16				
17	まとめ					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	講義	科目	建築法規Ⅱ	時間数	前期	2.0×17
									後期	
指導目標	建築基準法及び関係法令を理解させるとともに、演習を通じて運用能力を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	建築基準法（一般構造1）			
2						2	"（防火関係用語）			
3						3	"（避難施設）			
4						4	"（内装制限）			
5						5	"（耐火建築物）			
6						6	"（準耐火建築物）			
7						7	"（防火地域・準防火地域）			
8						8	"（防火区画）			
9						9	"（構造関係規定）			
10						10	"（制度規定）			
11						11	"（工事現場の安全）			
12						12	関係法令			
13						13	"			
14						14	"			
15						15	"			
16						16	"			
17						17	テスト返却・解説			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	講義	科目	構造力学Ⅱ	時間数	前期	2.0×17
									後期	
指導目標	トラス構造の基本を理解する。 断面の性質と応力度及び変形を理解する。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	反力の復習			
2						2	"			
3						3	応力			
4						4	"			
5						5	"			
6						6	"			
7						7	トラス構造の解法			
8						8	"			
9						9	"			
10						10	断面に関する数値と性質			
11						11	"			
12						12	"			
13						13	応力度			
14						14	"			
15						15	"			
16						16	まとめ			
17						17	テスト返却・解説			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	講義	科目	構造力学Ⅲ	時間数	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	部材の形状と座屈の関係を理解すると共に、不静定構造物や弾性と塑性の基礎を理解する。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	部材と座屈					1				
2	部材と座屈					2				
3	部材と座屈					3				
4	静定構造物と不静定構造物					4				
5	静定構造物と不静定構造物					5				
6	静定構造物の解法					6				
7	静定構造物の解法					7				
8	静定構造物の解法					8				
9	不静定構造物の解法					9				
10	不静定構造物の解法					10				
11	不静定構造物の解法					11				
12	弾性と塑性					12				
13	弾性と塑性					13				
14	弾性と塑性					14				
15	塑性設計の概念					15				
16	塑性設計の概念					16				
17	塑性設計の概念					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	講義	科目	構造設計	時間数	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	習得した構造力学の知識をもとに具体的な構造物の設計手法を習得する。 構造種別とその特色を理解する。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	構造設計の流れ			
2						2	構造設計の流れ			
3						3	建築物に働く荷重（長期荷重）			
4						4	建築物に働く荷重（長期荷重）			
5						5	建築物に働く荷重（短期荷重）			
6						6	建築物に働く荷重（短期荷重）			
7						7	構造種別と特色（W構造）			
8						8	構造種別と特色（W構造）			
9						9	構造種別と特色（RC構造）			
10						10	構造種別と特色（RC構造）			
11						11	構造種別と特色（S構造）			
12						12	構造種別と特色（S構造）			
13						13	地盤と基礎			
14						14	地盤と基礎			
15						15	二次設計の内容			
16						16	二次設計の内容			
17						17	テスト返却・解説			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	講義	科目	建築構造Ⅱ	時間数	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	RC造、S造の概要を理解させ、設計等の実践に対する応用力を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	RC造 RC造の特徴／構造概要・構造計画			
2						2	主体各部の構造			
3						3	基礎構造			
4						4	RCの材料			
5						5	柱・梁の配筋			
6						6	〃			
7						7	壁・床の配筋			
8						8	〃			
9						9	S造 S造の特徴・構造概要			
10						10	主体各部の構造			
11						11	〃			
12						12	接合方法			
13						13	〃			
14						14	溶接の種類			
15						15	〃			
16						16	その他の構造			
17						17	テスト返却・解説			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	講義	科目	建築材料	時間数	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	建築物の設計、構造計画、施工のために必要な建築材料の基本的な性質等について理解させるとともに、設計製図、一般構造等との関連性を重視し、より適正な材料の使用方法を習得させる。前半は構造用材料、後半は非構造用材料（内外装材・機能材料）について講義する。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	概要			
2						2	木材			
3						3	"			
4						4	コンクリート			
5						5	"			
6						6	鋼材			
7						7	"			
8						8	非鉄金属材料			
9						9	石材			
10						10	ガラス・陶磁器			
11						11	左官材料			
12						12	プラスチック			
13						13	塗 料・接着剤			
14						14	外壁パネル・カーテンウォール			
15						15	内装材料(床・壁・天井)			
16						16	防水材料・シーリング材			
17						17	防火・断熱・防音材料			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	講義	科目	建築施工 I	時間数	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	建築の基礎的な施工方法、及び工事現場の業務・態度・習慣を習得させるとともに、施工の重要性について認識させる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	建築施工概要			
2						2	施工計画			
3						3	地盤 I			
4						4	地盤 II			
5						5	仮設工事 I			
6						6	仮設工事 II			
7						7	仮設工事 III			
8						8	土工事 I			
9						9	土工事 II			
10						10	土工事 III			
11						11	杭工事 I			
12						12	杭工事 II			
13						13	杭工事 III			
14						14	鉄筋工事 I			
15						15	鉄筋工事 II			
16						16	鉄筋工事 III			
17						17	テスト返却・解説			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	講義	科目	建築施工Ⅱ	時間数	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	建築の基礎的な施工方法、及び工事現場の業務・態度・習慣を習得させるとともに、施工の重要性について認識させる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	鉄骨工事					1				
2	"					2				
3	コンクリートブロック工事					3				
4	ALCパネル工事					4				
5	防水工事					5				
6	左官工事					6				
7	タイル張り工事					7				
8	石張り工事					8				
9	"					9				
10	建具工事					10				
11	"					11				
12	ガラス工事					12				
13	"					13				
14	断熱工事					14				
15	"					15				
16	塗装工事					16				
17	"					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	講義	科目	建築積算	時間数	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	建築における建築積算の重要性を認識させるとともに、実務に即応できる積算技術と積算価格の構成技術を習得させる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築における積算の概要					1				
2	数量積算基準について					2				
3	土量の数量積算					3				
4	"					4				
5	"					5				
6	コンクリートの数量積算					6				
7	"					7				
8	型枠の数量積算					8				
9	"					9				
10	鉄筋の数量積算					10				
11	"					11				
12	鉄骨の数量積算					12				
13	"					13				
14	外部仕上げの数量積算					14				
15	"					15				
16	内部仕上げの数量積算					16				
17	"					17				
18	テスト返却・解説					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	講義	科目	防災計画	時間数	前期	2.0×17
									後期	
指導目標	建築の安全管理を設計計画との関わりで理解させる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	安全・防災原理／建築災害			
2						2	"			
3						3	"			
4						4	危険事象／人間行動			
5						5	"			
6						6	"			
7						7	安全性能／燃焼の原理			
8						8	"			
9						9	"			
10						10	延焼防止／防排煙／避難			
11						11	"			
12						12	"			
13						13	支援／煙流動／避難流動／建築防災計画			
14						14	"			
15						15	"			
16						16	まとめ			
17						17	試験			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	講義	科目	都市計画	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	都市計画に関する広範な分野の基礎を修得し、建築を都市の関わりあいの上で考える力を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	都市デザインの枠組み			
2						2	都市の歴史と都市デザインの沿革			
3						3	"			
4						4	都市の総合的計画／土地利用計画			
5						5	"			
6						6	"			
7						7	都市環境計画／都市基盤施設の計画			
8						8	"			
9						9	"			
10						10	景観計画／コミュニティ計画			
11						11	"			
12						12	"			
13						13	再開発等事業の計画			
14						14	"			
15						15	安全・安心の計画／地域まちづくり計画 まとめ			
16						16	"			
17						17	テスト返却・解説			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	演習	科目	建築製図演習	時間数	前期	8.0×17
									後期	
指導目標	<p>(1) 木造2階建住宅の設計を通じ、木構造への理解を確実なものとし、作図のスピードアップを図る。</p> <p>(2) RC造の基本を一般図や詳細図の写図を通じて習得し、製図技法や表現力を身に付ける。</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	木造2階建住宅の設計 要項説明・エスキース			
2						2	エスキース			
3						3	"			
4						4	作図			
5						5	"			
6						6	"			
7						7	RC造事務所ビル 写図平面図(地下・1階)			
8						8	平面図(基準階・屋上)			
9						9	断面図			
10						10	"			
11						11	立面図			
12						12	"			
13						13	詳細図			
14						14	"			
15						15	矩計図(1)			
16						16	矩計図(2)			
17						17	手直し・総合提出			
18						18				
19						19				
20						20				
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	建築学科	学年	1	区分	演習	科目	建築設計演習 I	時間数	前期	8.0×17
									後期	
指導目標	単位空間を基本とした、設計技術の総合性に立脚した計画方法・表現技法を習得させる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	設計演習Ⅰ（緑道に建つ公衆トイレ） 課題説明・エスキース			
2						2	作図・模型			
3						3	作品評価・発表会			
4						4	設計演習Ⅱ（大阪府公共建築設計コンクール） 課題説明・現地調査			
5						5	エスキース			
6						6	〃			
7						7	〃			
8						8	作図・模型			
9						9	〃			
10						10	作品評価・発表会			
11						11	設計演習Ⅲ（街のギャラリー） 課題説明・エスキース			
12						12	〃			
13						13	〃			
14						14	〃			
15						15	作図・模型			
16						16	〃			
17						17	作品評価・発表会			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	演習	科目	CAD演習	時間数	前期	
									後期	4.0×17
指導目標	CADによる図面作成技術を、建築業界で一般的に使用されているソフトを用いて習得させる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	jwCADのインストール・基本的な機能			
2						2	"			
3						3	jwCADの基本操作			
4						4	"			
5						5	"			
6						6	"			
7						7	"			
8						8	建築図面の作成			
9						9	"			
10						10	"			
11						11	"			
12						12	"			
13						13	"			
14						14	"			
15						15	"			
16						16	"			
17						17	まとめ			
18						18				
19						19				
20						20				
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	建築学科	学年	1	区分	演習	科目	デジタルプレゼンテーション演習 I	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	色彩・レイアウトなどグラフィックデザインの基礎を学び、建築・インテリアのプレゼンテーションにおける図面・ボード・ドキュメント等のデジタルによる表現方法を習得する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	Adobeインストール			
2						2	Photoshop①			
3						3	Photoshop②			
4						4	Photoshop③			
5						5	Photoshop④			
6						6	Photoshop⑤			
7						7	Photoshop⑥			
8						8	Illustrator①			
9						9	Illustrator②			
10						10	Illustrator③			
11						11	Illustrator④			
12						12	Illustrator⑤			
13						13	Illustrator⑥			
14						14	Illustrator⑦			
15						15	Illustrator⑧			
16						16	Illustrator⑨			
17						17	Illustrator⑩			
18						18				
19						19				
20						20				
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	建築学科	学年	2	区分	演習	科目	B I M演習 I	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	BIMへの入門として、ArchiCADの基本操作を修得する。また、課題を与え、実際に図面を作成することで、2次元CADとの違いやBIMによる設計の基本を理解する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	ArchiCADインストール					1				
2	ArchiCADの操作 (ArchiCAD magic1・2)					2				
3	"					3				
4	"					4				
5	"					5				
6	"					6				
7	"					7				
8	ArchiCADで図面を描く (RC造2階建事務所ビル)					8				
9	"					9				
10	"					10				
11	"					11				
12	"					12				
13	"					13				
14	"					14				
15	"					15				
16	"					16				
17	"					17				
18	課題提出					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	演習	科目	B I M演習Ⅱ	総時間	前期	
									後期	4.0×17
指導目標	BIMへの入門として、ArchiCADの基本操作を修得する。また、課題を与え、実際に図面を作成することで、2次元CADとの違いやBIMによる設計の基本を理解する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	課題①木造自主設計の入力			
2						2	"			
3						3	"			
4						4	"			
5						5	"			
6						6	課題②RC造矩計図			
7						7	"			
8						8	"			
9						9	"			
10						10	"			
11						11	"			
12						12	課題③卒業設計図面強化			
13						13	"			
14						14	"			
15						15	"			
16						16	"			
17						17	"			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	演習	科目	卒業制作 (建築設計コース)	総時間	後期 前半	8.0×17	
									後期 後半	4.0×17	
指導 目標	今までに履修した各科目の関連に留意し、これらを総合して一つの作品制作を通じて体系的にまとめる能力を養う。										
評価 方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	後 期 (前 半)					回数	後 期 (後 半)				
1	要項説明 テーマ設定					1	テーマ申請書ヒアリング				
2	調査・事例研究・ダイアグラム・コンセプト模型					2	調査・事例研究・ダイアグラム・コンセプト模型				
3	"					3	"				
4	エスキース					4	エスキース				
5	"					5	"				
6	敷地・周辺模型					6	敷地・周辺模型				
7	"					7	B I Mモデル作成				
8	中間発表					8	"				
9	B I Mモデル作成					9	"				
10	"					10	一般図				
11	一般図					11	"				
12	"					12	矩計図				
13	矩計図					13	"				
14	"					14	模型・設計主旨・概要・仕上表・プレゼン資料作成				
15	模型・設計主旨・概要・仕上表・プレゼン資料作成					15	"				
16	"					16	"				
17	科内発表会・提出					17	訂正作業・模型修正				
18						18					
19						19					
20						20					
備 考											

学科	建築学科	学年	2	区分	演習	科目	建築設計演習Ⅱ (建築設計コース)	総時間	前期	8.0×18
									後期	
指導目標	作品制作をとおして、基本的な技術と作業態度を体得し、製図の技能・計画・設計の考え方、建築の実務的技術内容との関わりを理解させる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	【デコルームコンペ】 課題説明・現調					1				
2	エスキス					2				
3	"					3				
4	"					4				
5	BIMモデル作成					5				
6	"					6				
7	図面のまとめ・発表用PP作成					7				
8	"					8				
9	科内発表会・提出 ※プレゼンテーション(レンタックス)別途					9				
10	【共同の住まい】要項説明・エスキス					10				
11	エスキス					11				
12	"					12				
13	BIMモデル作成・作図					13				
14	"					14				
15	"					15				
16	"					16				
17	模型製作・プレゼンテーション資料作成					17				
18	発表会・提出					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	演習	科目	スペースデザイン演習 (建築設計コース)	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	建物廻りをどうデザインするか、都市につなげるにはどうデザインするか、自然と人間との関係を探り入れたデザイン・公共空間における美とは等を座学・実習及び見学をとおして理解させる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	【環境デザイン】日本造園史・課題Ⅰ（原風景）					1				
2	世界造園史・日本公園史・現代建築の外構 ビオトープ					2				
3	課題Ⅰ提出・課題Ⅱ（屋上庭園）					3				
4	課題Ⅰ発表 課題Ⅱエスキース					4				
5	課題Ⅱ発表・課題Ⅲ説明					5				
6	課題Ⅲ					6				
7	課題Ⅲ・ボード・模型の提出・発表					7				
8	【空間デザイン】五感と空間のかかわり					8				
9	〃					9				
10	用途別空間の捉え方					10				
11	〃					11				
12	空間造形とスタイリング					12				
13	〃					13				
14	採光・照明・色彩					14				
15	空間計画手法					15				
16	パブリック空間					16				
17	〃					17				
18	作品提出・発表					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	演習	科目	デジタルプレゼンテーション演習Ⅱ (建築設計コース)	総時間	前期	
									後期	4.0×17
指導目標	<p>自分の考えを他者にうまく伝えるという事は、非常に重要であり、その機会は増える一方である。さまざまなシチュエーションで話が出来るように、デジタルツールを利用しての話し方やスライドデザインなど、プレゼンテーションのスキルアップを向上させる。</p>									
評価方法	<p>課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	オリエンテーション			
2						2	課題① 自分の好きなもの・ことのプレゼン			
3						3	"			
4						4	"			
5						5	"			
6						6	課題② 卒業設計の設計概要のプレゼン			
7						7	"			
8						8	"			
9						9	"			
10						10	発表			
11						11	課題③ ArchiCADを利用したプレゼン資料作成			
12						12	"			
13						13	"			
14						14	課題④ 卒業制作プレゼンボード作成			
15						15	"			
16						16	"			
17						17	課題提出			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	演習	科目	卒業設計 (施工管理コース)	総時間	後期 前半	8.0×17	
									後期 後半	4.0×17	
指導 目標	最低限の計画・製図能力を養うとともに、施工計画で習得した知識を活かし、施工計画演習と連動させてコンクリート躯体図・平面詳細図・足場計画図等の作成方法を習得させる。										
評価 方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	後 期 (前 半)					回数	後 期 (後 半)				
1	エスキース					1	エスキース				
2	配置・平面					2	配置・平面				
3	立面図					3	立面図				
4	断面図					4	断面図				
5	〃					5	〃				
6	矩計図					6	矩計図				
7	〃					7	〃				
8	伏図					8	伏図				
9	断面リスト					9	断面リスト				
10	〃					10	〃				
11	コンクリート図					11	コンクリート図				
12	コンクリート図					12	コンクリート図				
13	〃					13	〃				
14	【テーマ別】 外部足場計画図・掘削計画図・タイル割付図					14	【テーマ別】 外部足場計画図・掘削計画図・タイル割付図				
15	〃					15	プレゼン資料				
16	〃					16	手直し				
17	発表					17	まとめ				
18						18					
19						19					
20						20					
備 考											

学科	建築学科	学年	2	区分	演習	科目	施工図演習 (施工管理コース)	総時間	前期	8.0×18	
									後期		
指導目標	RC造設計図を基にコンクリート躯体図・割付図等の施工図を描くことにより、意匠図・構造図を総合的に読み取る能力を養う。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	施工図とは JW-CADの設定・基本操作 【一般図】平面図					1					
2	断面図・立面図・仕上表					2					
3	各種詳細図					3					
4	【施工図／平面詳細図】 1階平面詳細図 開口部詳細図					4					
5	1階平面詳細図 2階平面詳細図					5					
6	【躯体図 基礎編】 躯体図の表現説明 1階コンクリート平面図					6					
7	1階コンクリート平面図・断面図					7					
8	2階コンクリート平面図・断面図					8					
9	基礎コンクリート平面図・断面図					9					
10	屋上階コンクリート平面図・断面図					10					
11	【躯体図 応用編】 RC造中規模ビル躯体図の作成					11					
12	"					12					
13	"					13					
14	"					14					
15	"					15					
16	"					16					
17	"					17					
18	まとめ 卒業制作に向けて					18					
19						19					
20						20					
備考											

学科	建築学科	学年	2	区分	演習	科目	施工実習 (施工管理コース)	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	実習や見学を通じて施工関連知識の理解を深める。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	ガイダンス 実習1 (略測量：歩測・目測)					1				
2	実習2 (水準測量)					2				
3	実習3 (水準測量)					3				
4	実習4 (角測量)					4				
5	実習5 (角測量)					5				
6	実習6 (墨出し)					6				
7	実習7 (地縄張り)					7				
8	実習8 (見学)					8				
9	実習9 (見学)					9				
10	実習10 (見学)					10				
11	実習11 (見学)					11				
12	実習12 (階段コンクリート図)					12				
13	実習13 (階段コンクリート図)					13				
14	実習14 (見学)					14				
15	実習15 (見学)					15				
16	実習16 (見学)					16				
17	実習17 (階段コンクリート図)					17				
18	実習18 (階段コンクリート図)					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	演習	科目	施工計画演習 (施工管理コース)	総時間	前期	
									後期	4.0×17
指導目標	<p>施工計画の基本を学び、RC造設計図を基に仮設計画図等を描くことにより、施工計画全般の理解を深める。また、卒業制作との関連に配慮する。</p>									
評価方法	<p>課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	施工計画の概要説明			
2						2	施工計画の基本1			
3						3	施工計画の基本2			
4						4	施工計画の基本3			
5						5	施工計画の基本4			
6						6	施工計画の基本5			
7						7	施工計画の基本6			
8						8	掘削工事計画図（土量計算含む）			
9						9	掘削工事計画図（土量計算含む）			
10						10	掘削工事計画図（土量計算含む）			
11						11	掘削工事計画図（土量計算含む）			
12						12	外部足場計画図			
13						13	外部足場計画図			
14						14	外部足場計画図			
15						15	外部足場計画図			
16						16	外部足場計画図			
17						17	まとめ			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	演習	科目	卒業設計 (建築設備コース)	総時間	後期 前半	8.0×17
									後期 後半	4.0×17
指導 目標	建築の重要な要素の一つである建築設備の基本である空気調和設備、給排水衛生設備の設計に必要な知識のほか、計算書及び図面の作成方法を習得させる。									
評価 方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	後 期 (前 半)					回数	後 期 (後 半)			
1	課題説明・計画の進め方					1	基本設計(給排水)			
2	基本設計(給排水)					2	基本設計(給排水)			
3	実施設計(給排水)					3	実施設計(給排水)			
4	実施設計(給排水)					4	実施設計(給排水)			
5	実施設計(給排水)					5	実施設計(給排水)			
6	実施設計(給排水)					6	実施設計(給排水)			
7	実施設計(給排水)					7	実施設計(空調)			
8	実施設計(空調)					8	実施設計(空調)			
9	実施設計(空調)					9	実施設計(空調)			
10	実施設計(空調)					10	実施設計(空調)			
11	実施設計(空調)					11	実施設計(空調)			
12	実施設計(空調)					12	実施設計(空調)			
13	実施設計(空調)					13	実施設計(空調)			
14	実施設計(空調)					14	実施設計(空調)			
15	実施設計(空調)					15	実施設計(空調)			
16	実施設計(空調)					16	実施設計(空調)			
17	実施設計(空調)					17	実施設計(空調)			
18						18				
19						19				
20						20				
備 考										

学科	建築学科	学年	2	区分	演習	科目	給排水衛生設備演習 (建築設備コース)	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	給排水衛生設備の設計に必要な技術的内容を理解させ、建物用途・規模・予算に応じた設備計画ができるようにさせる。また、給排水衛生設備の写図をし、設備図の表し方を学び、小規模な事務所ビルの設備計画をし、機器の選定および図面に表現する能力を養う。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	給排水衛生設備概論					1				
2	空気調和・衛生設備の知識					2				
3	給排水設備見学(1・2号館) 写真撮影					3				
4	給水設備容量計算 受水槽・高置水槽					4				
5	" 給水管径算定(タンク下り)					5				
6	" 揚水管・消火管径算定					6				
7	衛生配管図トレース 事務所ビル					7				
8	" 便所平面詳細図					8				
9	" 水槽・ポンプ廻り詳細図					9				
10	トレース図面の 給水設備容量の算定					10				
11	" 排水管・通気管算定					11				
12	衛生配管図(2号館)作成 作図と現場再確認					12				
13	衛生配管図(2号館)作成 作図と現場再確認					13				
14	衛生配管図(2号館)作成 作図と現場再確認					14				
15	2号館衛生設備DR(デザインレビュー)					15				
16	"					16				
17	"					17				
18	まとめ					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	演習	科目	空気調和設備演習 (建築設備コース)	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	空気調和設備の設計に必要な技術的内容を理解させ、建物用途・規模・予算に応じた設備計画ができるようにさせる。また、空気調和設備の写図をし設備図の表し方を学び、小規模な事務所ビルの設備計画をし、機器の選定および図面に表現する能力を養う。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	空気調和設備概論 空気調和・衛生設備の知識					1				
2	"					2				
3	熱負荷計算・演習 熱通過率、実効温度概念					3				
4	"					4				
5	熱負荷計算・演習 ガラス、人体、換気計算					5				
6	演習用建築図トレース事務所ビル					6				
7	空調配管図トレース (事務所ビル) パッケージ形空調機					7				
8	"					8				
9	空調ダクト図トレース (事務所ビル) 全熱交換器ユニット、天井扇					9				
10	トレース図面の熱負荷計算 壁体からの負荷計算					10				
11	"					11				
12	外気、内部発生熱計算					12				
13	機器選定 (パッケージ・全熱交)					13				
14	空調設備現場調査 (0号館) 写真撮影					14				
15	空調配管図作成 (0号館) パッケージ型空調機					15				
16	"					16				
17	空調ダクト図作成 (1号館) 全熱交換器、ダクトファン					17				
18	1号館空調設備DR (デザインレビュー)					18				
19	まとめ					19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	演習	科目	電気設備演習Ⅰ (建築設備コース)	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	建築における電気工事全般の知識を習得させ、電気設備設計の基本を修得させる。同時に第2種電気工事士の資格取得を目指す。									
評価方法	試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	電気設備1					1				
2	電気設備2					2				
3	電気設備3					3				
4	電気設備4					4				
5	電気設備5					5				
6	電気設備6					6				
7	電気設備7					7				
8	電気設備8					8				
9	電気設備9					9				
10	電気設備10					10				
11	電気設備11					11				
12	電気設備12					12				
13	電気設備13					13				
14	電気設備14					14				
15	電気設備15					15				
16	電気設備16					16				
17	電気設備17					17				
18	電気設備18					18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	2	区分	演習	科目	電気設備演習Ⅱ (建築設備コース)	総時間	前期	
									後期	4.0×17
指導目標	建築における電気工事全般の知識を習得させ、電気設備設計の基本を修得させる。									
評価方法	試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1						1	電気設備1			
2						2	電気設備2			
3						3	電気設備3			
4						4	電気設備4			
5						5	電気設備5			
6						6	電気設備6			
7						7	電気設備7			
8						8	電気設備8			
9						9	電気設備9			
10						10	電気設備10			
11						11	電気設備11			
12						12	電気設備12			
13						13	電気設備13			
14						14	電気設備14			
15						15	電気設備15			
16						16	電気設備16			
17						17	電気設備17			
18						18				
19						19				
20						20				
備考										

学科	建築学科	学年	1	区分	実習	科目	アッセンブリアワー (ASH)	総時間	前期	2.0×18	
									後期	2.0×17	
指導目標	<p>学校生活を通して、充実した学びと自己実現を図れるようになることを目的として、以下の力を身につけることを主な目標とする</p> <p>(1) 学校行事やクラス運営に関することを理解し、管理する力</p> <p>(2) 自らの意志で継続的に学習し、困難を乗り越える力</p> <p>(3) 自らが自主的に進路決定を行える力</p>										
評価方法	レポート・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	学習の手引き/授業構成について/資格ガイダンス/軽井沢研修概要説明					1	後期ガイダンス				
2	個人面談					2	就職ガイダンス・自己分析				
3	個人面談					3	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識14				
4	個人面談					4	個人面談				
5	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識1					5	個人面談				
6	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識2					6	個人面談				
7	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識3					7	インターネットによる就職活動（毎ナビ特別講義）				
8	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識5					8	希望職種・業種・適性検査 「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識15				
9	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識6					9	日経アーキテクチュア特別講義（2年生と合同）				
10	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識7					10	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識16				
11	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識7					11	冬期休暇前ガイダンス				
12	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識8					12	求人情報の見方・インターネット登録				
13	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識9					13	求職登録票・2年次コース選択ガイダンス				
14	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識10					14	進級ガイダンス				
15	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識11					15	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識17				
16	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識12					16	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識18				
17	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識13 夏期休暇ガイダンス					17	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識19				
18	期末試験ガイダンス・施工実習(富士) について					18					
19						19					
20						20					
備考											

学科	建築学科	学年	2	区分	実習	科目	アッセンブリアワー (ASH)	総時間	前期	2.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	学校生活を通して、充実した学びと自己実現を図れるようになることを目的として、以下の力を身に着けることを主な目標とする (1) 学校行事やクラス運営に関することを理解し、管理する力 (2) 自らの意志で継続的に学習し、困難を乗り越える力 (3) 自らが自主的に進路決定を行える力									
評価方法	レポート・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	進級ガイダンス					1	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 1 5			
2	進路ガイダンス・インターンシップ希望調査					2	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 1 6			
3	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識1					3	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 1 7			
4	卒業生による進路ガイダンス（職種別講演会）					4	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 1 8			
5	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 2					5	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 1 9			
6	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 3					6	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 2 0			
7	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 4					7	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 2 1			
8	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 5					8	「日経アーキテクチュア」特別講義（1年合同）			
9	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 6					9	冬期休暇前ガイダンス			
10	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 7					10	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 2 2			
11	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 8					11	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 2 3			
12	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 9					12	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 2 4			
13	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 1 0					13	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 2 5			
14	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 1 1					14	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 2 6			
15	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 1 2					15	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 2 7			
16	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 1 3					16	卒業制作発表会について			
17	「日経アーキテクチュア」から学ぶ建築の知識 1 4					17	学期末ガイダンス			
18	前期末ガイダンス					18				
19						19				
20						20				
備考										